

業務用ロスナイ システム部材
リレーボックス
形名

PZ-N12RB (100V、単相200Vのロスナイ専用)

PZ-N100RB (100Vのロスナイ専用)

PZ-N200RB (単相200Vのロスナイ専用)

据付工事説明書

販売店・工事店様用

リレーボックスは空調機とロスナイ（適用機種参照）を連動制御（空調機からの信号を受けロスナイに伝える）するものです。ロスナイ本体またはその付近で点検のできるところに据付けてください。

■据付工事を始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

■据付工事は販売店・工事店様が実施してください。






この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。




This appliance is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

No servicing is available outside of Japan.

安全のために必ず守ること

● 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

 警告		誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	
 分解禁止	改造や必要以上の分解をしない 火災・感電・けがの原因。	 指示に従い必ず行う	端子台接続部は、指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する 接続に不備があると火災の原因。
 浴室据付禁止	浴室など湿気の多い場所には、本体・リモコンスイッチとも据付けない 感電および故障の原因。		電気工事は電気設備技術基準や内線規程に従って有資格者である電気工事士が安全・確実に行う 接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因。
 指示に従い必ず行う	定格電圧、制御容量範囲内で使用する 間違った電圧で使用すると、火災・感電の原因。		漏電保護用に電源側へ漏電ブレーカーを使用する 漏電した場合火災の原因。

 注意		誤った取扱いをしたときに軽傷または建物・機械などの物的損害に結びつくもの	
 禁止	高温（40℃以上）や直接炎があたったり、油煙の多い場所には据付けない 火災の原因。	 指示に従い必ず行う	ふたは施工後、必ず閉める ほこり・湿気などにより漏電・火災の原因。
	機械および化学工場など酸・アルカリ・有機溶剤・塗料など有害ガス・腐食性成分を含んだガスが発生する場所には据付けない 故障の原因。		据付け後、長期間使用しない場合は、必ず分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因。
	塩害・温泉害などの発生している場所には据付けない 絶縁劣化による漏電火災や故障の原因。		据付けの際は手袋を着用する 着用しないとけがの原因。

適用機種

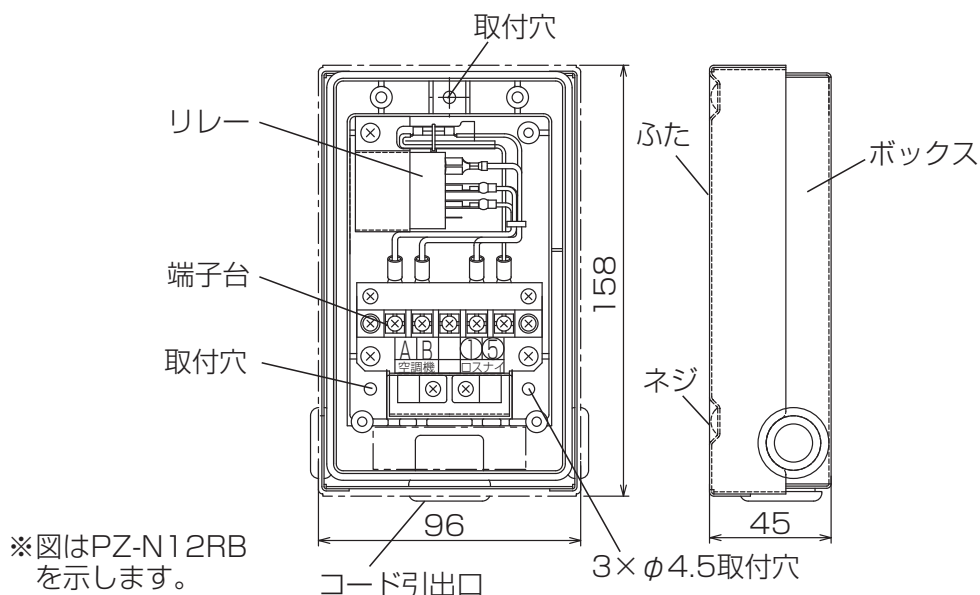
適用ロスナイとコントロールスイッチおよび複数台運転可能台数はカタログの適用機種一覧表で確認してください。

決められた台数以上を接続すると、リレー接点容量が過負荷となり、故障の原因となります。

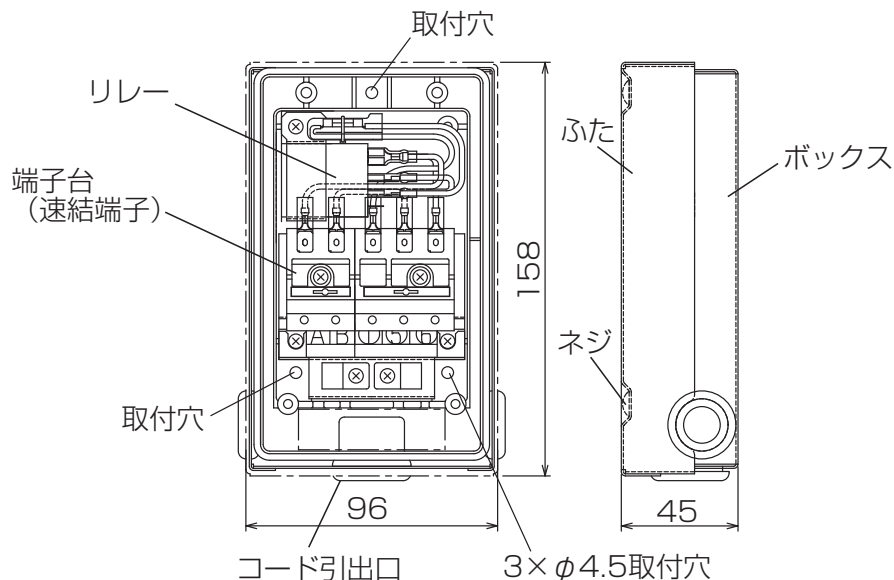
各部のなまえと外形寸法図

PZ-N12RB

PZ-N100RB



PZ-N200RB



付属部品

取付ネジ……3本

ネジキャップ……3個



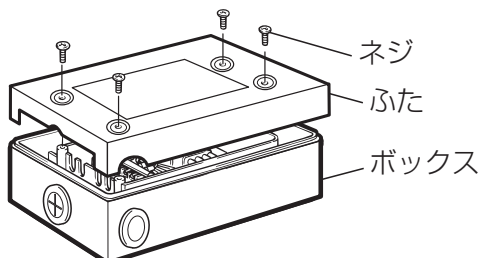
据付方法

警告

電気工事は電気設備技術基準や内線規程に従って有資格者である電気工事士が安全・確実に行う
接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因。

1

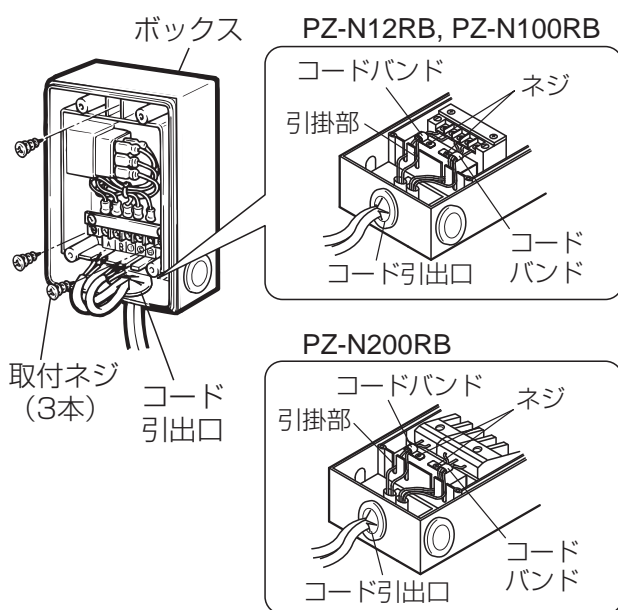
※イラストはPZ-N12RBを示す。



ふたの取りはずし

ネジ4本をはずしてふたを取りはずす。

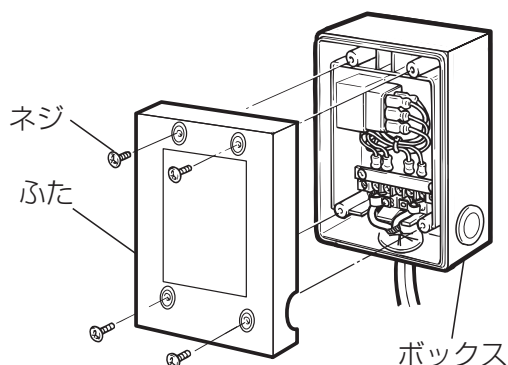
2



結線をする

1. 結線図を参照してコード引出口から電線を引き込み結線する。
 - PZ-N12RB、N100RB
電線の被ふくを10mm皮むきしてください。隣の端子に接触しないよう、確実にネジ止めしてください。
 - PZ-N200RB
電線はVVF φ1.6をご使用ください。速結端子台に表示されているゲージに合わせて皮むき(15mm)してください。芯線が見えなくなるまで端子台に差し込んでください。
2. 電線をコードバンドで結束し、ネジで締めた後、軽く引っ張って抜けないことを確認する。
3. 電線はたるみのないよう引掛部に納める。
4. ボックスを取付ネジ (3本) で固定する。
※取付けは6ページの図に従い、ロスナイ本体に取付けることをおすすめします。

3



ふたの取付け

取りはずしたネジ4本でボックスにふたを取付ける。

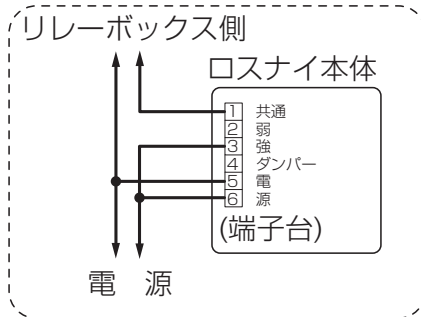
据付方法 つづき

配線方法

■ロスナイ本体が標準タイプの場合

PZ-N12RBの場合

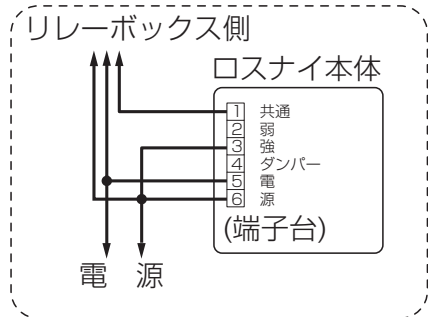
コントロールスイッチ未使用時
(強運転ON/OFF制御)



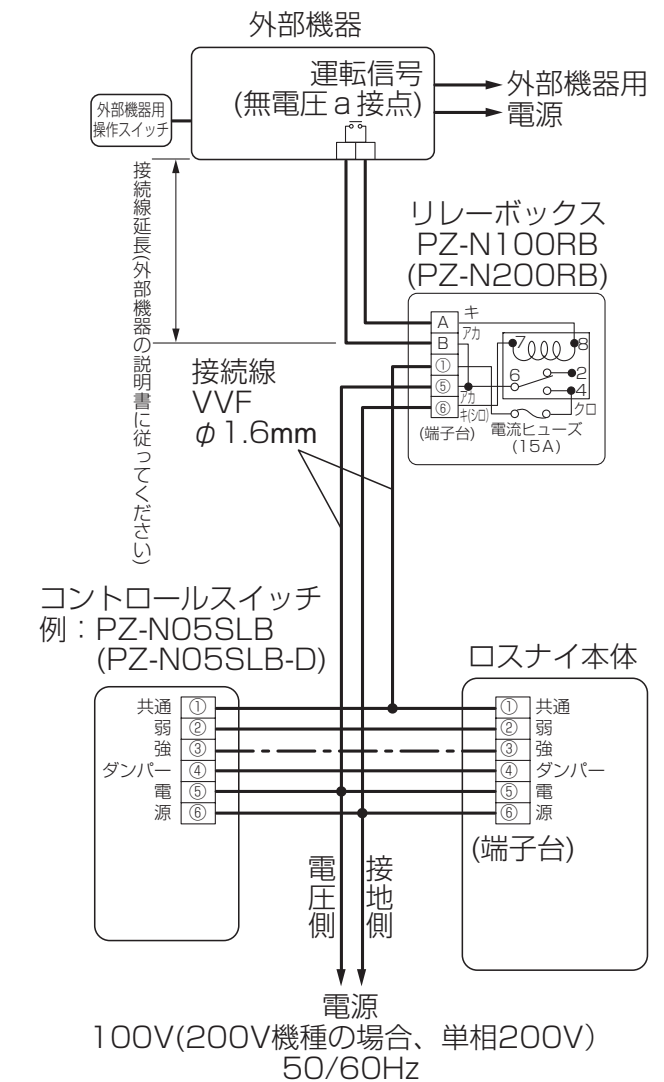
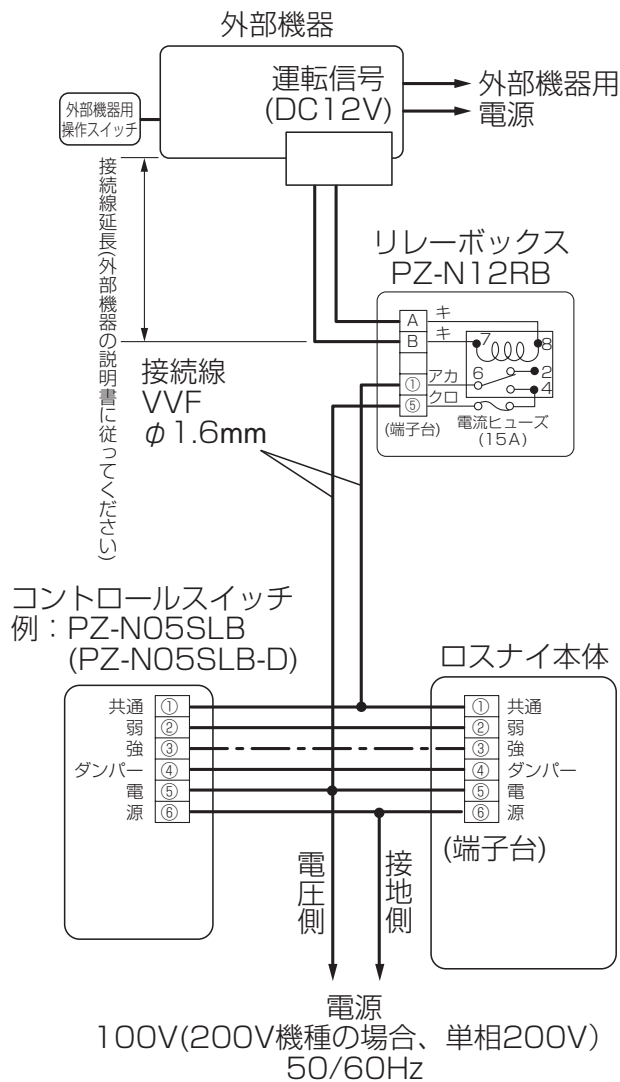
誤結線防止 リレーボックス端子台⑤電とロスナイ端子台⑥源の接続は、絶対にしないでください。故障の原因となります。

PZ-N100RBの場合 (PZ-N200RB)

コントロールスイッチ未使用時
(強運転ON/OFF制御)



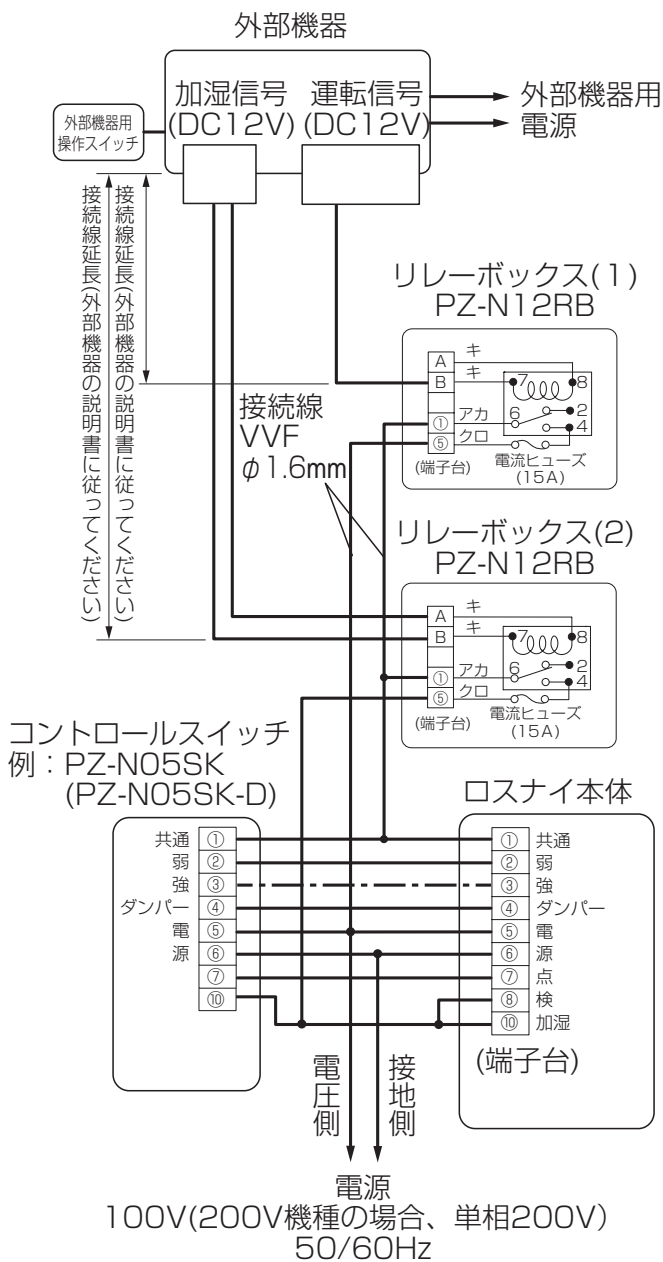
誤結線防止 リレーボックス端子台⑤電とロスナイ端子台⑥源の接続は、絶対にしないでください。故障の原因となります。



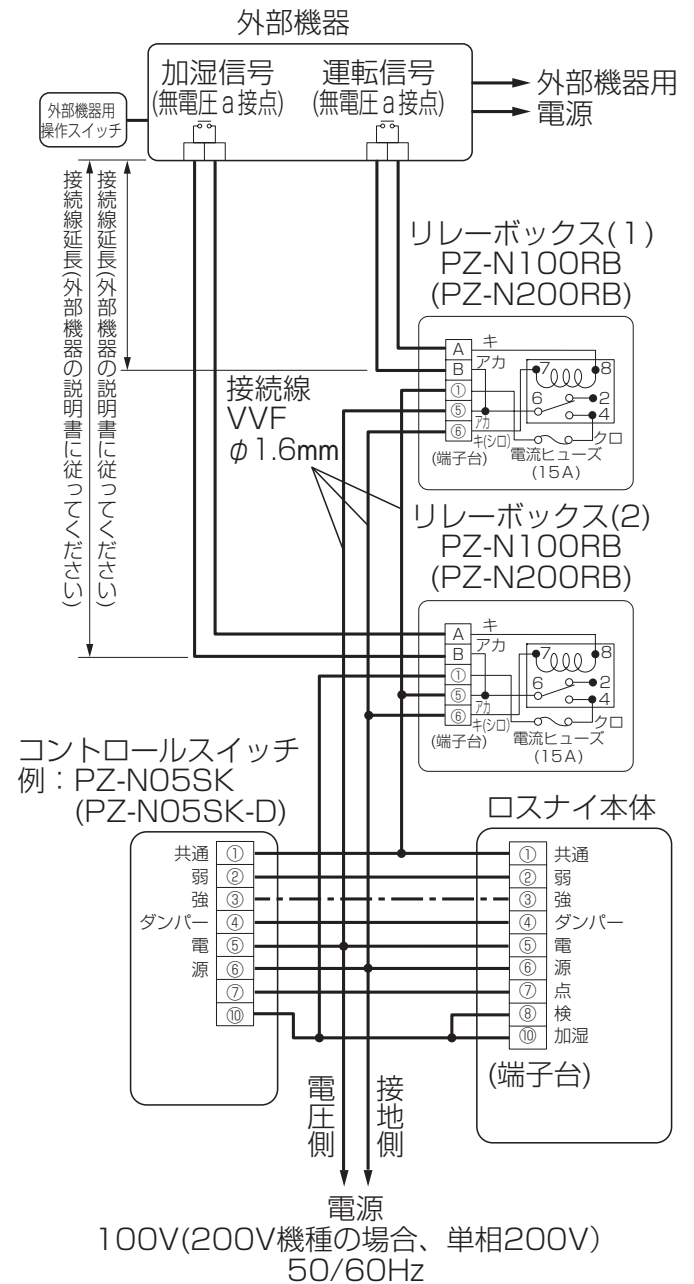
● 本体機種により一点鎖線部結線は unnecessary ですので本体の納入仕様書・据付工事説明書をご覧ください。

■ロスナイ本体が加湿タイプの場合

PZ-N12RBの場合



PZ-N100RBの場合 (PZ-N200RB)



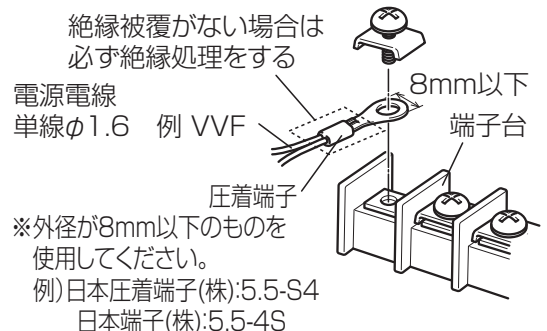
● 本体機種により一点鎖線部結線は unnecessary ですので、本体の納入仕様書・据付工事説明書をご覧ください。

端子台接続時のご注意

⚠ 注意

電源線、連絡電線などを端子台の1か所に2本以上接続する場合は圧着端子などを使用して確実に接続する
使用しないと漏電・火災などの原因になることがあります

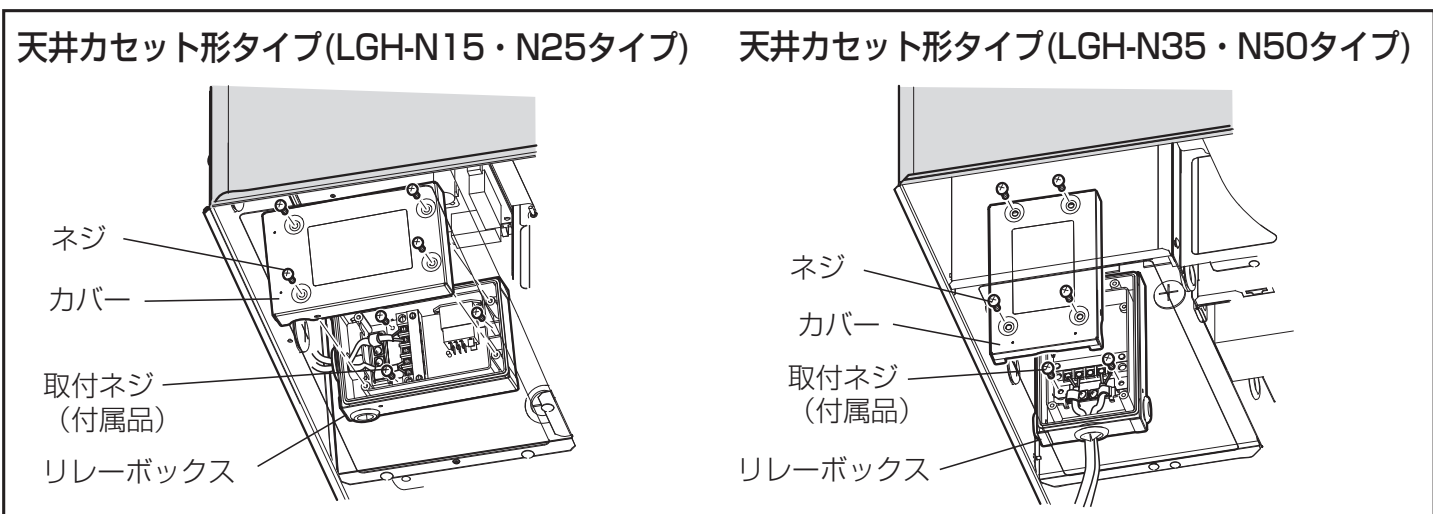
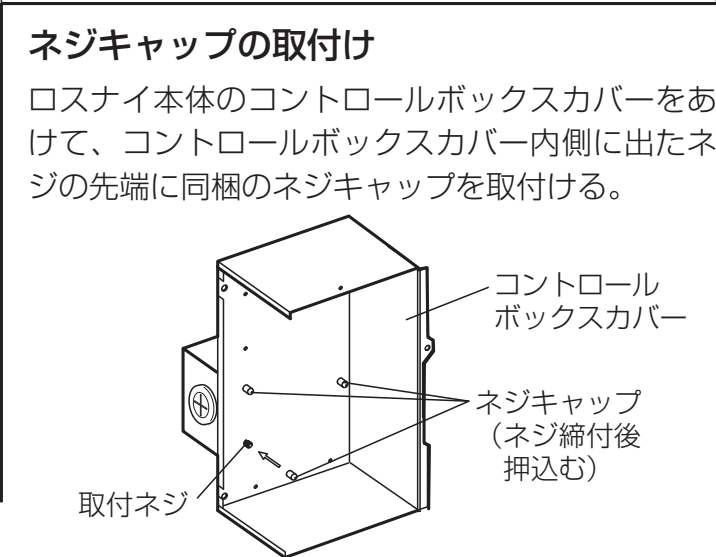
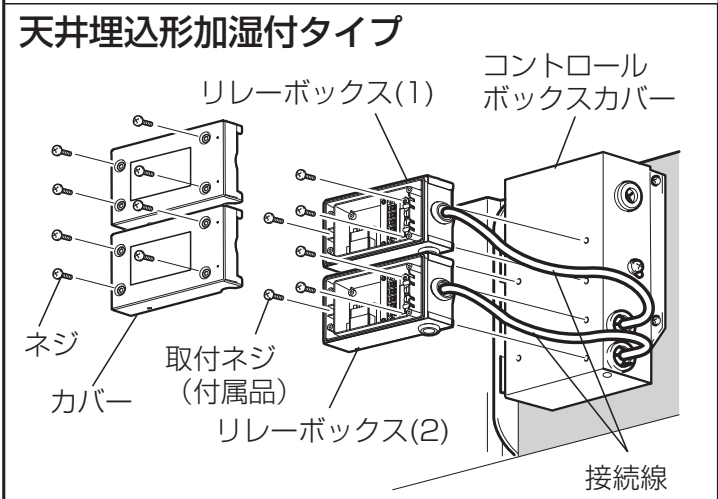
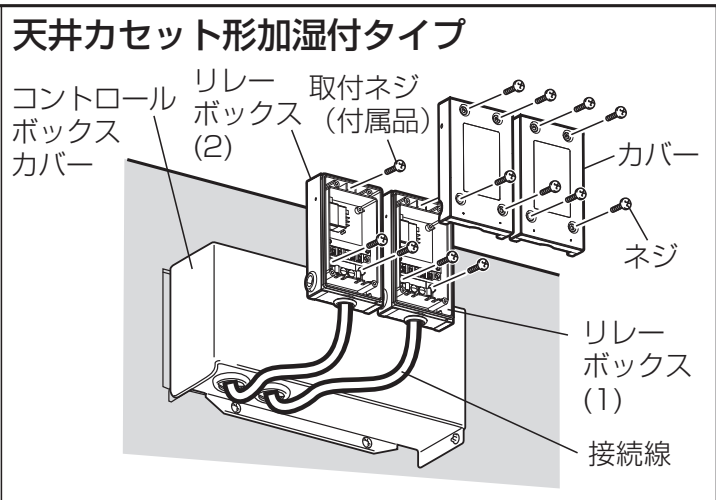
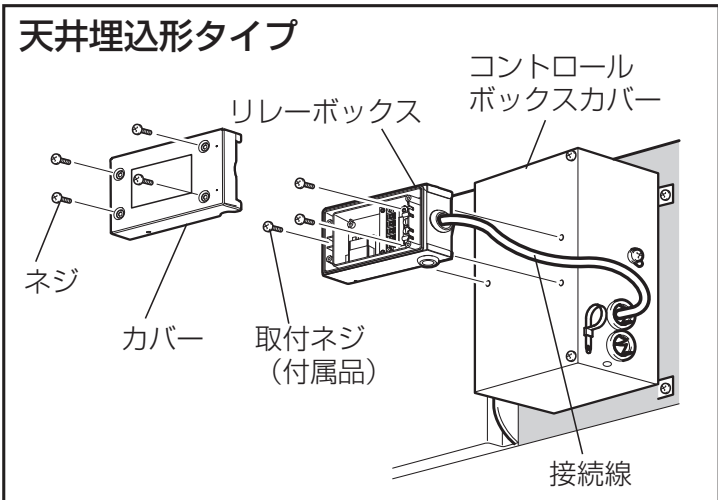
圧着端子 接続例



据付方法 つづき

ロスナイ本体へ据付ける場合

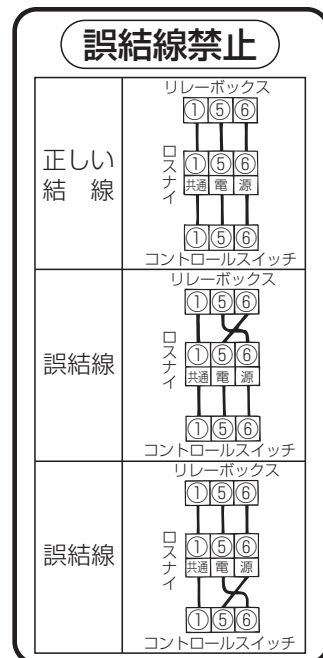
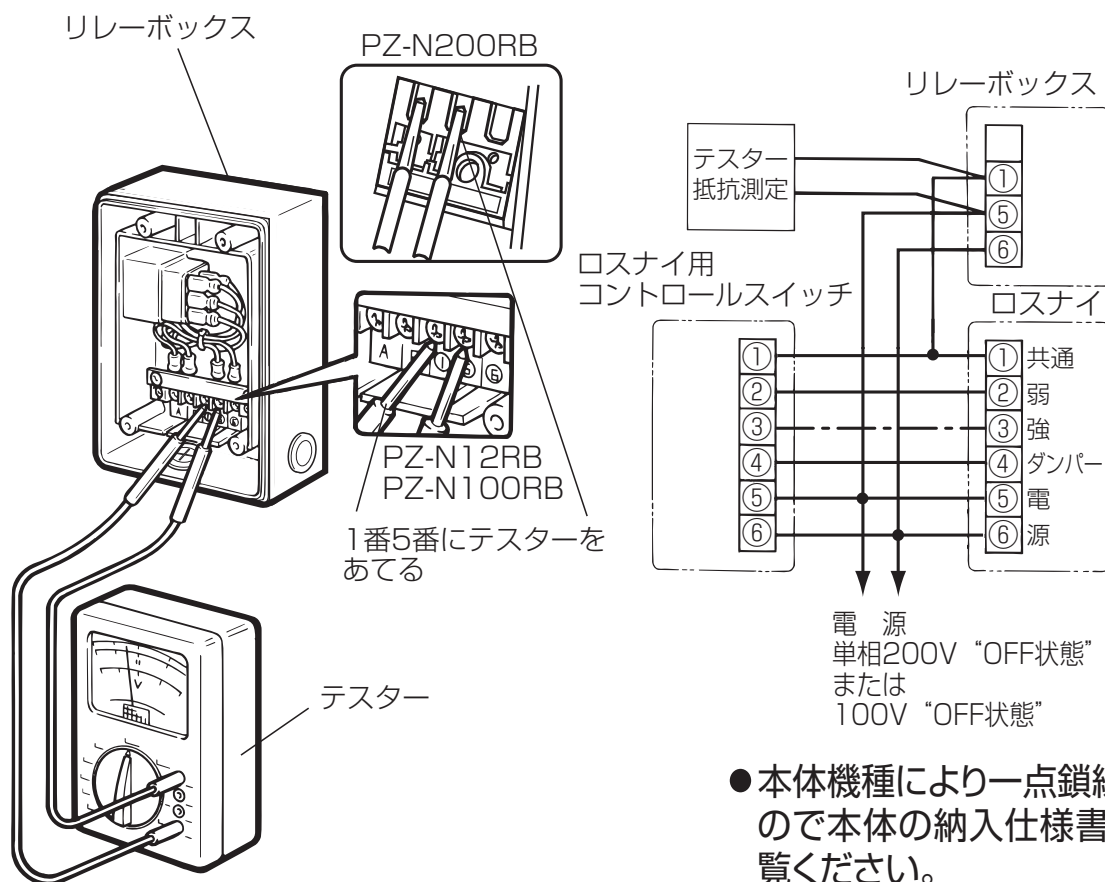
●天吊露出タイプおよび床置きタイプは本体の据付工事説明書をご覧ください。



結線の確認

■試運転前に必ず正しく結線されているか確認してください。

特に電源線⑤⑥を誤結線すると、短絡モードになり、リレー接点が溶着して使用不可能になります。



●本体機種により一点鎖線部結線は不要ですので本体の納入仕様書・据付工事説明書をご覧ください。

	手順	確認事項	ポイント
1	①元電源：OFF ②空調機：OFF ③ロスナイ用コントロールスイッチの電源スイッチ：切	空調機、ロスナイ共に停止 ※元電源OFFのため、通電されていないことの確認	
2	ロスナイ用コントロールスイッチの運転モード：弱 普通換気	ロスナイ停止 ※元電源OFFのため、通電されていないことの確認	
3	リレーボックス端子台①番、⑤番にテスターをあて、抵抗値を測定 (テスター等にて抵抗〔Ω〕レンジ)	導通 「数Ω」以下（接続電線の抵抗分）	VVFケーブル抵抗値 (参考) φ1.6：9Ω/km φ2.0：6Ω/km
4	ロスナイ用コントロールスイッチの電源スイッチを「切」に切り換えて、再度テスターでリレーボックス端子台①番、⑤番の抵抗値を測定	非導通 「KΩ、MΩ以上」 抵抗値がKΩ、MΩ以上を示さない場合は誤結線	抵抗値がKΩ、MΩ以上を示さない場合は、リレーボックスの端子台⑤⑥の配線を入れ換えて手順2より再度確認する。

●確認事項が確認されない場合は必ずその時点で結線が正しいかを確認して、次の確認作業へ進んでください。

試運転

据付工事終了後次の要領で試運転を行ってください。

			操 作	確 認
1	ロスナイ用コントロールスイッチおよび空調用リモコンを使用しない	(1)	元電源ON（ブレーカー等）	100V機種は100V、 単相200V機種は単相200Vが 電源⑤⑥に供給
2	ロスナイ用コントロールスイッチによる運転	(1)	コントロールスイッチの電源スイッチを「入」にする	コントロールスイッチの運転ランプ（赤）が点灯 ロスナイ運転開始
		(2)	風量調節スイッチを切り換える	「強」：強ノッチ運転 「弱」：弱ノッチ運転
		(3)	機能切換スイッチを切り換える	「ロスナイ換気」：ロスナイ運転 「普通換気」：普通換気運転 （普通換気からロスナイ換気に 切り換わるとき「パタン」と 音がします）
		(4)	電源スイッチを「切」にする	コントロールスイッチの運転ランプが消灯 ロスナイ停止
3	空調機用リモコンによる運転	(1)	空調機リモコンONにする	空調機運転開始 ロスナイ運転開始
		(2)	ロスナイ用コントロールスイッチの風量調節・機能切換スイッチを切り換える	2項（2）、（3）による
		(3)	空調機リモコンOFFにする	空調機停止 ロスナイ停止
お願い		1.ロスナイ用コントロールスイッチを使用しない場合は、「ロスナイ換気」の「強」運転となります。 2.加湿連動する場合は、コントロールスイッチの加湿スイッチが「切」状態で空調機を暖房運転し次の確認をしてください。 ● 加湿器が運転されていることを確認してください。（点検口より確認） ● コントロールスイッチの加湿スイッチの運転ランプが点灯しているか 3.試運転終了後、ロスナイを停止させるには空調機用リモコンおよびロスナイ用コントロールスイッチの両方を「切」にしてください。 （片方のスイッチだけでは、停止しません） 加湿の試運転後は、給水バルブまたはサービス弁を閉止し、加湿器の乾燥運転を行ってください。		

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、
再生紙を使用
しています。